

近畿地区協議会

近畿の新たな産業創出委員会

近畿地区ビジネスイノベーション サミットの企画・実施

Action! sheet

<運動の背景・目的>

① 実施背景

各地域に眠る新たな取り組みとステークホルダーが繋がる仕組みが構築され、各地域の経済が活性化される必要がある。

② 実施目的

地域課題解決のために資源を活用した地域経済を活性化させる事業を継続して創出できるという気づきを得ることを目的とする。

<運動推進のステップ>

理想とする未来

新たな産業を創出するために、学生と有識者を交えた意見交換の場を設け、その中で多様なアイデアを集め、実現可能なプロジェクトを構築し続ける未来。

01

認識 フェーズ

- 各地域が抱える課題、地域の特色について発表をし、学生が地域のことを認識する。

02

体感 フェーズ

- 認識フェーズで得た情報を実際に体感しに現地へ赴き情報を得る。
- 体感すると同時に創出するビジネスについてアイデアを得る。

03

創出 フェーズ

- これまでに得た情報、体感を参考に地域で展開できるビジネスプランを作成する。
- JCメンバーがメンター・講師となりビジネスについて学生と共に向き合う。

04

発信 フェーズ

- 各フェーズを経て創出されたビジネスプランの発表の場を設ける。
- 発表後創出されたビジネスプランと来場者とのマッチングの機会を提供する。
- 学生、JCメンバーその他ステークホルダーとが繋がる機会とする。

運動実行

必要に応じて軌道修正

<パートナー、アドバイザー>

- 公益財団法人わかやま産業振興財団 岡京子氏
- 立命館大学 経営学部 准教授 林永周氏

学生と構築したビジネスプランに対して各々のパートナーの専門分野からの講評をいただきプランをブラッシュアップしていく。

<サマーコンファレンスまでの成果>

① 運動としての成果

取り組み地域の魅力の再認識。
取り組み地域への関係人口の増加。

② 地域の変化

他地域との人財の交流から既存の魅力への自信、新たな魅力への気づきを得られる。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる!
運動の推進議案をチェック!

gian pocket



ACTION!

どうしたらいいかわからない!を解決する
相談・サポートの申し込みはこちらから!
日本JCの会議委員会が、2026年に向けての運動構築方法をサポート!

